

2022年度 女子バレーボール部 メンバーインタビュー

スローガン 頂躍

部員数	20人以下	主な成績
所属学群	体育専門学群, 人文・文化学群	2021年秋季関東大学女子1部リーグ戦 優勝
練習場所	球技体育館	2021年全国インカレ 3位 2022年黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会 ベスト8

野津 亜珠佳(体育4年)
佐々木 梨乃(体育1年)

— 私が目指す「バレーボール」

野津

私たちは「頂躍」というスローガンを掲げています。結果を求めることも大事ですが、結果を出すための過程を大事にしたい思いからです。自分たちが何を目標にして進みたいのか、日々の練習にどう取り組んでいくのかを明確にして、毎日の練習を大事にすることで最終的には全日本インカレで優勝することを目標にしています。

佐々木

チームが日本一になるために個人としては、練習の意味を考えながら取り組んでいます。日々レベルアップし、昨日の自分よりも今日何か1つでも出来るようになるように取り組んでいます。



(写真左:佐々木、右:野津)

— 筑波大学をどう思っていた？

野津

競技を続けたい思いがあり、バレーボールでも勉強でもレベルの高い筑波大学で自分を成長させたいと思い、目指しました。

佐々木

私は進路を高校1年生の冬頃に決めました。体育の先生が筑波大出身だったことから興味を持ち、自分で色々調べました。勉強もスポーツもトップレベルの筑波大を目指そうと当時は思っていました。

— 今のチームで学んだこと、チームの好きなおところ

野津

全員が現状に満足することなく、1つ出来るようになったら、次は1つ上を目指し、切磋琢磨し合えるところが好きです。また、チームの目標がある中でも、個人の目標をしっかりと掲げて日々レベルアップできる場所は選手としても人としても学べる場所だと思います。

佐々木

学びになっていることは、部員みんなが自分のことだけでなく周りのことが本当によく見えて気に掛けてくれるところです。私はまだ入学したばかりで自分のことで精一杯なのですが、先輩たちは個人・チーム全体を見ているので、そこが良いところだと思います。練習は厳しいですが、練習が終われば、みんなお茶目なところもあり、今のチームの雰囲気が好きです。



— これからの目標(直近の目標、人生の目標)

野津

チームとしての目標は日本一を取ることです。そのために個人としては試合に出られるように日々の練習で力をつけることが目標です。

将来はチームで学んだことを活かして、社会で通用する人材になりたいと思います。筑波大学で得られた様々な経験を大事にして、もっとレベルアップしたいです。

佐々木

チームでは日本一を目指して、最低限の基準を高くして日々練習に取り組んでいます。個人としてはもっと守備面を強化できるように、体力・筋力の強化を頑張っています。

将来は地元に戻って体育教師になりたいです。

— 未来のチームメイトに一言

野津

自分は一般入学で入ってきました。レベルの高い筑波大学で、推薦も一般も関係なく全員が同じ目標に向かって頑張れる環境がここにはあります。勉強でもレベルの高い環境でバレーボールも一生懸命頑張れるのが、筑波大学の良いところだと思います。ぜひ日本一を一緒に目指しましょう！

佐々木

勉強も部活も高いレベルで大変なこともあります、その分得られるものも多いです。ぜひ一緒に日本一を目指しましょう！

